



2020年1月31日

各 位

会社名 株式会社 赤阪鐵工所
 代表者名 取締役会長兼社長 杉本 昭
 (コード番号 6022 東証第 2 部)
 問合せ先 常務取締役執行役員総務本部長
 塚本 義之
 (TEL. 054 - 685 - 6081)

業績予想の修正、特別利益の計上及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は2020年3月期におきまして、下記のとおり特別利益を計上するとともに、2019年5月15日に公表した通期業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2020年3月期通期個別業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,700	0	60	60	39.59
今回修正予想(B)	9,600	△200	△130	30	19.75
増減額(B-A)	△100	△200	△190	△30	—
増減率(%)	△1.0	—	—	△50.0	—
(ご参考)前期実績	9,406	△55	7	△46	△30.57

修正の理由

売上高は、修理部品、修理工事の売上は当初計画を上回る見込みとなりましたが、主機関の生産台数は予定通りとなるも大型UE機関の台数が減少したこと、また、陸上部門の売上減少、特に外販鑄物の売上計画未達により公表計画を下回ることとなりました。

収益面では、工作機械業界向けの外販鑄物の受注の低迷から、鑄物単価が上昇。主機関の製造コストに大きく影響を及ぼしたことにより製造原価が悪化。また、船舶の環境規制に対応したエンジン開発に係る試験研究費の増加等経費も増加しており、期初の予想に比べ大幅に損益は悪化しました。

但し、下記のとおり、特別利益を計上いたしますので、2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)については、上記のとおり修正いたしました。

● 特別利益の計上について

2018年9月の台風24号の風災被害により工場建屋が破損しました。この損害に関する保険金136百万円を保険会社より受領しましたので、受取保険金として特別利益に計上いたします。

また、保有資産の効率化を図るため、保有している投資有価証券の一部を売却いたしました。この売却により発生した、投資有価証券売却益についても特別利益として計上いたします。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (2019年5月14日)	—	—	—	未定	未定
今回修正予想				30.00	30.00
当期実績	—	—	—		
前期実績 (2019年3月期)	—	—	—	30.00	30.00

修正の理由

当社は業績及び経営環境等を総合的に勘案した配当の実施を考えております。また、経営体質の強化や経営戦略の実現に必要な内部留保を確保しつつ、株主に対する安定配当の継続を基本方針としております。

当期の配当につきましては、経営環境の見通しが不透明であったため、未定とさせていただいておりましたが、上記の配当に関する基本方針を踏まえ、通期業績予想と財務状況の見通しを勘案し、期末配当予想を1株あたり30円とさせていただきます。

(注) 業績予想につきましては本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる場合があります。

以 上